



ほろのべ

北緯45度のまち

# 議会だより

## 第67号

発行 北海道幌延町議会

編集 議会報発行特別委員会

電話 01632-5-1111

FAX 01632-5-2971

### お も な 内 容

議案審議 .....	2～3
サークル紹介 .....	3
地域の課題をとらえて一般質問 .....	4～5
予算委員会審議内容 .....	6～8
総務文教常任委員会 .....	8
産業厚生常任委員会 .....	8～9
編集にあたって .....	9



## 第1回 幌延町議会

3月8日  
～3月16日

幌延町定例議会が3月8日～3月16日の日程で開催され、行政報告後、認定1件、議案22件を原案のとおり可決し15日閉会した。

## 議案審議

### ▽認定第1号

### 平成23年度幌延町立病院事業会計決算の認定

当会計の事業期間は平成23年4月1日～9月30日までの6ヶ月間で、町立病院の決算をする。

問 町立病院の図書、蔵書、備品の取り扱いは。

答 図書、蔵書は診療所の本棚に整理し、いつでも閲覧できる。備品については、使えるものは診療所の方へ、残ったものは普通財産にし北星園・こざくら荘で使っている。

### ▽議案第1号

### 町道の認定について

町立診療所内町道北2丁目線から町道北1丁目線を繋ぐL字型の道路延長1百17.89m。

### ▽議案第2号

### 平成23年度幌延町一般会計補正予算第5号

歳入・歳出1億1千8百93万6千円増額し予算総額49億3千3百78万3千円と

する。

問 消防費の住宅耐震事業診断に関する補助金が全く使われていないが。

答 この事業については診断に限度額10万円5軒分、改修事業費1千万円2軒分を予算化していたが、幅を広げバリアフリーも含めて検討をする。

問 エネルギー関連見学会の事業費が大きな減額となっているが、今後この事業を原子力以外のエネルギー見学研修事業には使えないのか。

答 東日本大震災の影響により今年度は中止せざるを得なかった。この事業は広



エネルギー関連施設見学会(滝川テクニカルセンター)

報安全等対策交付金で、原子力施設の見学がメインになっている。

問 未来につなぐ森づくり事業の当初造林を30ha実施の予定はどうなったのか。

答 実績は21haとなっており、残りの面積は民有地なので所有者の意向により継続できればと考えている。

問 積立金残高が年々増えてきているが、町民のサービスという面から見て、どういう基準で積み立てているのか。

答 町民サービスは大原則とされているが、基準というものはなかなか見えずらうと思う。今後北星園の退職金の充ちや、認定こども園、問寒別生涯学習センターの建設、公共施設の修繕など大きな経費が出てくることも予想される。

問 一つしかない幌延町のホームヘルプサービスが休止状態に陥ったが、各町村において緊急時の体制づくりを検討してはどうか。

答 今回のケースは異例な事と考えている。広域的な取組は難しいと考えている

が、機会があれば相談する。

● 幌延町まちづくり事業は1件、農業施設補助事業は利用がなかったが、PR不足や使い勝手が悪かったためではないのか。また、副町長を中心に会議を持って意見交換をするという話はあるのか。

● 町づくり事業についてはトナカイ薬局1件のみで今後気軽に使ってもらえる体系を考えている。農業施設補修事業は要望がなく全額減額をしているが、農協から具体的な支援策があれば、今後補助金の創設等を検討していく。

▽議案第3号  
平成23年度幌延町立診療所特別会計補正予算第3号

問 診療所になって初診料が高くなったのではないのか。

答 診療所に係る部分と院外薬局に係る部分があり、再診料が69点から70点、特定疾患療養管理費が147点から225点を金額に直すと、1割負担の患者で100円から120円の負担増となっている。

▽議案第4号  
平成23年度幌延町国民健康保険特別会計補正予算第2号

▽議案第5号  
平成23年度幌延町後期高齢者医療特別会計補正予算第1号

▽議案第6号  
平成23年度幌延町介護保険特別会計補正予算第3号

▽議案第7号  
平成23年度幌延町簡易水道事業特別会計補正予算第3号

▽議案第8号  
団地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

▽議案第9号  
幌延町税条例の一部を改正する条例の設定について

道府県たばこ税の一部を市町村たばこ税に移譲する改正。退職者の個人住民税10%税額控除を廃止、東日本大震災復興基本法に定める防災のための費用財源確保のため、臨時措置として10年間住民税の均等割、道民税の均等割を500円ずつ引き上げる。

▽議案第10号  
幌延町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の設定について

課税限度額医療分46万円を47万円に、後期高齢者支援分13万円を14万円に、介護分10万円を12万円に引き上げ、限度額69万円を73万円とする。

▽議案第11号  
幌延町乳幼児等医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例の設定について

町内の小学生以下の子どもの医療費一部助成を中学生以下の子どもの医療費全額を助成とする。

▽議案第12号  
幌延町介護保険条例の一部を改正する条例の設定について

要介護認定者の増加や福祉施設の整備による給付費の伸びが見込まれることから基準算定同額4千9百45円を5千9百7円、19.5%増の改定。

▽議案第13号  
幌延町営住宅条例の一部を改正する条例の設定につ

いて

老人など居住の必要のあるものを町の規則において収入基準の金額を条例で定める。

▽議案第14号  
幌延町公共施設整備基金条例の設定について

社会福祉施設等建設基金

を訪問して

『焼き物研究サークル』

会長 村元香代子

Q、活動について。

A、幌延中学校の教室、焼成窯をお借りして作品を作っております。陶芸が大好きな会員が現在10人、毎月4回、月曜日に、都合の付く時間に集まります。

去年は町民文化祭と夢地層館に作品を展示させて頂きました。



幌延町民文化祭風景

を廃止し、今後公共施設の建設、大規模修繕に対応できよう、幌延町公共施設整備基金を設定。

▽議案第15号  
北海道市町村総合事務組合規約の変更について

窯の蓋をあける時のドキドキする事！ステキな作品が出た時は、みんなで大喜びします。

「会長さんから一言」  
他の町の陶芸サークルの作品を見に行くのも楽しみです。陶芸に興味のある方と一緒に作品作りしませんか。

# 地域の課題をとらえて

## 3氏が一般質問



### 平成24年度町政執行方針について



西澤 裕之

**Q**、告知端末機の今後の活用方法は。  
**A**、道内で研究会を立ち上げ研究を行っており、活用出来るものは導入していく。

**質問** 協働のまちづくり支援制度の検討を進めるとあるが、23年度の執行方針でも述べられていた。今年度の検討内容と制度の構想について伺いたい。

**町長** 協働のまちづくりを進めるには共助の活性化を図ることが必要であり、公益性・公共性の高いまちづくり活動に対して、財政的に支える仕組みを構築して行かなければならないと思っている。現在、中身についての検討までは至っていないが、25年度の施行を目指したいと考えている。

**質問** プレミアム商品券発行による地域振興事業を支援するところがあるが、継続事業とする考えはあるのか。

**町長** 商工会が町全体の消費購買意欲を高め、町外流

出防止策として企業の売上げ増進を図り、町民生活支援に役立つ事業として取組むものと認識している。継続的な事業要望があった場合は、24年度の実績を考慮し対応したい。

**質問** 幌延深地層研究センター関連の企業誘致を目指しているが、その進出につながるように担当部署に予算付けをすべきと考えるが。

**町長** 産業技術総合研究所や原研センター、電力中央研究所などが幌延のフィールドを利用し研究しているが、新たな研究事業等が行われるよう、担当部署において情報収集や調査などに取り組みとともに、必要に応じた予算措置をしていく。

**質問** 今後の幌延町健康増進計画を伺いたい。

**町長** 運動習慣定着化事業として太極拳を実施する。今年のノーカーデーは9月

の第3水曜日に実施する予定。新たな取組みとしては、ウォーキングラリーを開催する。

また、食生活応援部会を立ち上げ適塩生活の推進を図るなど、運動と食生活の双方の推進により町民の健康増進を図りたい。加えて、心の健康づくりとして、精



運動習慣定着化事業(太極拳)

神科医の講演会を開催する。

**質問** 地域担当者制度の構想と、今年度構築した幌延町災害時要援護者支援制度との関連を伺いたい。

**町長** 町職員が役場と地域のパイプ役として、行政情報の提供や地域情報の収集等を行う制度で、本町での導入を検討している。問題点としては、職員の本務と担当活動の調整の問題、町内会の自主性を損なう可能性への懸念、支援に差が出てしまわないかといった課題があり、今しばらく検討させて頂きたい。

なお、災害時要援護者支援制度は要綱等を整備し、この制度とは切り離して進めている。



見 悟

**Q**、ゆめ地創館(PR施設)などの閉鎖・休止の動きがあるが、どう考えるか。  
**A**、地層処分などの理解のため必要な施設と考える。

**質問** 原子力委員会の原発行政への変更が出そうだが。

**町長** 検討されている。

**質問** 原子力機構の深地層

研究センター予算の推移で調査したが、差異が出てくる。なぜ出るのか。

**町長** 現在、原子力機構に



確認中。

**質問** 決算額については知らないということだが、なぜ調査しないのか。

**町長** 必要がないので聞いていない。

**質問** 今年1月16日付の日経新聞で、天北の褐炭埋蔵量と珪藻土の埋蔵量が20億tを超えると書かれていた。CO<sub>2</sub>の削減、メタン生成に非常に有望な地域と考えるが、町としてどう考えるか。

**町長** メタン生成の研究は、幌延町はもとより、天北地域の振興、発展につながる可能性のある研究と期待している。

**質問** 鎌形洋一先生のコメント(日経新聞)は少し違うように思うが。

**町長** 約10年間で長期研究計画として取り組んでいくと聞いている。

**質問** 特許権の申請の話もあるが。

**副町長** ノーステック財団の方で申請したいということと聞いている。

**質問** 具体的な話となつて来ると、どう関わることになるか。

**副町長** 珪藻岩、褐炭を食べてメタンを出すという生成菌が数多くいる。今の地圏環境研究所では、そのメタンを生成するというような菌を探索している。釧路のコールマインセンターからも褐炭を頂いて研究したいと聞いている。町としては町内のボーリングデータとか、これからの試験ボーリングするための協力はできると考えている。

**質問** 今年度国が新たに出生して来た農業後継者支援策や新規就農策に関連して町独自の支援策も必要だと思うが、どうか。

**町長** 農協さんと協議し取り組んでいきたい。



深地層研究センターとPR施設



齋賀 弘孝

**Q、**風力発電から納入される  
税収の1/4を財源として、ふるさと創生資金として確保し新規新エネルギー導入事業予算の一部に充てる件はどうなっている。  
**A、**計画はあつたが、その通り  
になつていない。

**質問** 学校改善プランはどうなっているか。

**教育長** 各家庭と共通理解に立ち目標への成果は見えてきている。

**質問** 武道の必修化にどう対応するのか。

**教育長** 幌延中学校は柔道、問寒別中学校は剣道を選択。新年度予算に関係備品を計上。

**質問** 保護者は事故、怪我を一番心配されていると思うが。

**教育長** 教員の講習会・研修会等を実施し、学校と連携を取りながら進めていく。

**質問** 浜里の竪穴遺跡群は町指定の史跡にしないのか。

**教育長** 今のところ、考えてない。

**質問** 最終的に歴史資料としてその場所に行つて見ることができるようになるのか。

か。

**教育長** 国立公園内であるため簡単に入入りできない。社会科副読本、図書室に資料提示としてこれまでの成果を見れるようにしたい。

**質問** 新エネルギーの平成28年二酸化炭素削減2千トンの幌延町目標は変わらないか。

**町長** 計画みたいなのを作つてなければ、補助金などが出ないという事で資料作製した。理解頂きたい。

**質問** 新エネのプロジェクトはどうなるのか。

**町長** 太陽光発電を民間住宅設置時に助成して、新エネに繋げたい。今後考究する。

**質問** 告知端末機を活用しての買い物支援の進捗状況。  
**町長** 商工会や農協との協議など、更に検討が必要。



3月定例会風景



音類竪穴群遺跡調査風景

**質問** 公約の環境基本条例はどうなったか。  
**町長** 国の環境への対応が変化する状況の中、具体策がまとまらない。今後より慎重に検討。

平成24年度各会計予算

# 総額 50億6,617万1千円

## 一般会計 40億0,000万0千円

齋賀弘孝氏を予算特別委員長に選任し、3月9・14日の審査の結果、原案通り可決

### 歳出の質疑

(主要部分のみ)

#### ◆総務費◆

##### 西澤委員

人材育成まちづくりスキルアップ研修事業の23年度実績と24年度事業予定を伺いたい。

##### 古草主査

23年度は職員の意識醸成を養う研修を2回、課題研究を行う研修3回の合計5回実施。

24年度は23年度の研修で得た評価や課題を分析し事業計画を策定するための実務研修を予定している。

##### 吉原委員

戸籍情報総合システムについて伺いたい。

##### 藤井主幹

戸籍管理は現在タイプライターによる紙ベースで行っているが、災害などでのデータ消失対策を考えるとコンピュータによるデータ化が最善の方法と考える。

また、同時に法務局にもデータ管理される仕組みとなっている。

##### 高橋委員

エネルギーマン連情報収集事業での見学会は24年度も道内のみで、エネルギー関連施設見学研修に

留めるのか。

##### 飯田主幹

23年度は道内道外2箇所を予定していたが、24年度は電力事情の不安定な状況を踏まえ道内のみを見学会を予定している。

#### ◆民生費◆

##### 植村委員

子供のための手当普及事業はまだ政府の方針が決定されていないが、予算額の根拠を伺いたい。

##### 村上主査

予算策定段階で3歳未満1万5千円、3歳以上1万円で計算し所得制限をしない全員支給として積算し、予算計上した。

##### 植村委員

昨年度の事業で申請された方も改めて申請書を提出しなければならぬのか。このシステム改修事業とは何か。



中央保育所入所式風景

##### 村上主査

子供手当制度自体が変わるので、改めて認定請求を申請しなければならない。

また、所得制限もあり、それらを含めたシステム改修が必要。

#### ◆衛生費◆

##### 西澤委員

公衆浴場利用者から脱衣場や浴場内の温度が低いとの話を聞いたが、どのような状況か。

##### 藤井主幹

脱衣場の室温はそれぞれ暖房器の温度調整器具が付いており、適正な管理がなされていると思うが、浴室も含めて確認する。

##### 佐々木委員

斎場の火葬炉修繕費が計上されているが、修理期間は何日程度を予定しているのか。

##### 田村主幹

斎場火葬炉の点検は年1回行っているが、昨年の点検で炉の一部に不具合が発見され、耐用年数が過ぎて耐火煉瓦の積み替えと合わせて1週間程度の修繕日程と考える。

その間、使用届が出た場合は、近隣3町に斎場利用願を出す。

#### ◆農林水産業費◆

##### 植村委員

有害鳥獣駆除の現状と、24年度の駆除に対する考え方を伺いたい。

##### 羽田主査

23年度は鹿2百34頭、キツネ47頭、カラス53羽の有害鳥獣駆除実績であった。

24年度は罾免許取得者が10名となり、頭数的にも増加している鹿5百頭(銃器4百頭、罾捕獲1百頭)の駆除を予定している。

アライグマは外来生物法に基づき、23年度は63頭を捕獲。24年度は80頭の捕獲を予定している。

##### 吉原委員

問寒別地区農業用水道調査事業は23年度より実施されているが、24年度の調査内容を伺いたい。

##### 櫻井主幹

今現在、同地区において水質、水量調査を実施しているが、今後もう1年間掛けてより確実なデータを確保したい。

#### ◆商工費◆

##### 西澤委員

新規事業として幌延・豊富広域観光促進事業とあるが、事業内容と財源内訳を伺いたい。

##### 島田主査

この事業はい



いききふるさと補助金を使い、幌延町が申請窓口となり3百万円、豊富町が1百万円を支出し実施する。

事業としては、合同観光パンフレットやポスターを作製し、広域の観光資源PRや推進を行う。

**佐々木委員** トナカイ観光牧場の新たな取り組みがあるのか伺いたい。

**島田主査** トナカイ観光牧場のホームページでブルーポピーの苗木販売に力を入れていきたい。

#### ◆土木費◆



ブルピー(ホワイトフェスタ)

**無量谷委員** 問寒別公営住宅解体工事1千万円が計上されているが、何戸分なのか。

**渡辺主幹** 古い公営住宅

8戸を解体する。

#### ◆消防費◆

**鷺見委員** 現在設置されている防災行政無線は今後とも利用されるのか。また新規の総合行政ネットワークとは何か。

**宮古主幹** 現在使用している防災行政無線は昭和56年の建設で、耐用年数も過ぎており、部品の調達も困難になっている。告知端末機の導入もあるが、出来るだけ修繕をし、しばらくは使用していきたい。

また、総合行政ネットワークとは、災害時に迅速・確実な通信網の確保のため、北海道と市町村を結ぶ専用回線で、平成6、9年に整備されたが、今回、更新時期を迎え、当核自治体が一部位負担して設置する。

#### ◆教育費◆

**高橋委員** 幌延小学校と問寒別小中学校に設置された太陽光発電でどの程度光熱水費が抑えられたのか。

**伊藤教育主査** 幌延小学校の太陽光発電量は1万6千kWで金額推計19万7千円程度、問寒別小中学校にお

いては8千kWで9万8千円程度と考えられる。

### 歳入の質疑

**植村委員** 個人税収入が23年度予算額より増えているが、その根拠を伺いたい。

**早坂主査** 23年の税制改正に伴い24年度より扶養控除や特定扶養控除などの見直しが主な原因。

**西澤委員** 情報通信施設管理費負担金収入を7百47万4千円見込んだ理由は。

**古草主査** NTT東日本のIRU契約に基づく光ファイバーの加入者数で歳入が決まる。

23年度実績で3百69件の加入実績を基本に、算出した。

**無量谷委員** 町税の滞納に関する徴収率向上対策について伺いたい。

**早坂主査** 町税滞納対策方針としては、まず現年度分を徴収し、新たな滞納を出さないことを目標としている。23年度分での徴収率は向上しているが、一層の徴収努力をしていく。



役場庁舎屋上から見た幌延市街

**佐々木委員** 地方交付税収入が増額となっているが、国の財政を考えると大丈夫なのか。

**藤田主幹** 地方交付税は町の歳入の40%を超える大きな財源で、地方財政計画で示されている額は、前年度0.2%増となっている。

計上根拠としては、交付税参入される公債費が増えることなど、前年度の実績を参考とし、慎重に検討し、計上した。

### 総括の質疑

**無量谷委員** 有害鳥獣駆除でのカラス駆除対策はどのように進めていくのか。

**谷口課長** 23年度よりカラス捕獲用ネットを購入し、色々と研究をしながら24年度は成果を出していきたい。

**高橋委員** 24年度中に自主防災組織などと連携し、避難訓練等を行わないのか。また、防災マップで示された町内危険箇所看板等の設置は考えられないのか。

**宮古主幹** 自主防災組織は、現在、町内8箇所が設立されている。今後も町内各地区での設立をお願いしており、個人の防災意識の高揚と地域の防災対策を自主的に話合っている。

今後、避難訓練等は自主防災組織と相談しながら進めていきたい。

防災マップで示された危険箇所への看板設置は今後、現地を確認して検討する。

**西澤委員** 宮本町長就任当初より、消防庁舎を始め色々な事業に取り組んできたと思うが、今、町長とし

て、町の財政は厳しいと考  
えるのか。

**宮本町長** 幌延町は、職員  
が知恵を絞り、少しでも有  
利な補助制度や事業を進め  
てきた。お陰で事業量の割  
には財政上問題なく運営さ  
れていると思う。

今後は、ソフト面での町  
民の要請にも対応したい。

**佐々木委員** 現在、町内の  
集会所では、百名規模の  
集会所が可能な施設は2箇所  
で、その内、国際交流施設  
に関しては、宗教、政治活  
動が制限されている。

他の施設も土・日曜日の  
使用ができない状況だが、  
使用緩和が可能なのか伺い  
たい。

**飯田主幹** 原子力機構が  
所有する施設は、幌延国際  
交流施設に限らず、政治活  
動や宗教活動に利用できな  
い。

**鈴木課長** 農村環境改善  
センターについては、以前  
の条例改正の際に、土・日曜  
日の利用はできないことにな  
っている。また、集会所施  
設機能を果たせるような施  
設ではないと認識している。

## 特別会計

### 幌延町立診療所特別会計

**西澤委員** 町立病院から  
診療所に替わって国からの  
交付金はどの様になるのか。

**瀬戸課長** 経過措置とい  
うことで、25年度まで今ま  
での金額が継続される。そ  
の後3診療所合わせて1  
億円程度の交付税を見込ん  
でいる。

**無量谷委員** 出張医の派  
遣はどの様な形なのか。

**岩川事務長** 木曜日から  
日曜日にかけて旭川医大か  
ら4名程度の医師が輪番制  
の様な形で1名ずつ派遣さ  
れている。

### 幌延町下水道事業特別会計

**予算**

**佐々木委員** 個別排水槽  
の整備事業の負担金はどの  
様になっているのか。今後  
も継続して行くのか。

**渡部主幹** 国からの補助  
金は入っていない。町単独  
で起債を借りて実施をして  
いる。今後も希望があれば  
継続して実施をする形は  
執っている。

## 常任委員会 報告

### 総務文教常任委員会

平成24年2月24日

#### ◎調査事項

- (1) 町立病院エレベーター設  
置事業に係る電源立地地  
域対策交付金の国庫返還
- ① 23年10月の診療所開設に  
伴い不要となったエレベ  
ーターについて、補助金等に  
係る予算の施行の適正化に  
関する法律により、国庫返  
還とする。

残存期間の10年6ヶ月分  
2千7百72万8千円を返還。  
(2) 24年度一般会計ほか6会  
計の概要

#### ○国及び地方財政の概要

- ・ 日本再生の5つの分野
- ① 東日本大震災からの復興
- ② 経済分野のフロンティア  
の開拓
- ③ 分厚い中間層の復活
- ④ 農林漁業の再生
- ⑤ エネルギー・環境政策の  
再設計

これらを中心に地域主権  
改革を推進し、既存予算の  
見直しを行う。

#### ○我が町の方針

- ① 本町は地方交付税に大き  
く依存する状況にあること  
から財政の健全化に向けた  
取組みを着実に進める。
- ② 行政改革の理念に則り、  
歳出全般を見直す。
- ③ 消費的経費の徹底した見  
直し
- ④ 投資的経費は酪農業の振  
興や、まちづくり基本方針  
に沿って選択と集中を実行。  
(町政執行方針より)

- (3) 問寒別生涯学習センター  
耐震診断業務
- ① 耐震診断業務委託業者  
・ 北電総合設計株式会社  
・ 23年7月26日～24年1  
月20日  
・ 委託金額 3百67万5  
千円
- ② 耐震補強(案)  
・ 方杖・ブレースによる  
補強概算工事費9千8  
百44万円
- ③ 今後の方針  
・ 耐用年数38年に対し36  
年経過しているが、耐  
震改修を行っても耐用  
年数は延びない。よっ  
て、生涯学習センター  
を新築する決断をした。

・ 問寒別分遣所はすでに  
建設すると決めている  
ので学習センターとの  
併設が可能か今後の基



問寒別生涯学習センター

本構想の中で検討する。

### 産業厚生常任委員会

平成24年2月24日

#### ◎調査事項

- (1) 橋梁長寿命化修繕計画の  
事業実施について
- ① 計画の概要  
損傷の程度に応じた維持  
管理や補修計画を策定し、  
25年度より10年をかけ、概  
ね36橋梁(40%)を修繕する。
- ② 計画の実施  
重要度の高い路線で、橋  
長100m以上など劣化状況  
に応じ優先的に行う。更に、  
供用年数に応じ劣化予測し

供用年数に応じ劣化予測し



総合的に判断し計画した。  
予算は10年間で2億9百万円を計画している。

### ③事業の財源

社会資本整備総合交付金の橋梁補修事業に実施する。

問 社会資本整備総合交付金は、事業費の何%出るのか。

答 事業費の65%。

問 計画的修繕で耐用年数(50年)以上使用できるといふ考え方か。

答 大規模修繕や架け替えをすると、60年間の投資総額は1百20億円必要になるのに対し、予防保全的な修繕の場合は60億円に抑えられると考えている。

### (2)第5期介護保険事業計画について

前回の常任委員会後、介護報酬改定内容が決定し、第1号被保険者保険料の基準額が年額7万3百円から7万8百円に変更された。

これまでも、委員会や本議会において、保険料の高さや低所得者層への配慮については指摘してきた。ただ、本町の利用者の状況を見ると施設サービスの利用が多く、保険料を上げる大

きな要因となっている。町も、施設から在宅介護への移行を図り、真に利用者の自立を支援するための、効率化・重点化する方向で見直しを行うとしている。一方、施設サービスの拡充を求める意見もあった。

### (3)認定こども園(仮称)基本構想の策定について

①建設予定地について  
病院跡地を建設予定地とする。

現保育所の場所については、代替施設が必要となるので、その確保は困難と判断した。

### ②作業スケジュール

24年度に基本設計、25年度に実施設計、26年度に建設工事等となり、供用開始は27年4月とする。

問 建設予定地周辺の住民にも意見も聴いて決定するのが望ましいと思うが。

答 地域懇談会をどうするか相談して進めていきたい。いずれにしても、スムーズな形で建設していきたいと思っている。

問 建物以外の土地利用をどう考えているのか。

答 遊具施設や簡易的なグラウンド用地も含め、全エリアを認定こども園の用地として使用したい。

### (4)乳幼児等医療費助成事業の拡充について

#### 改正(案)

名称 幌延町子ども医療費対象者 15歳未満児(中学生まで)

助成の範囲 中学生までの入院、通院に係る医療費。重度心身障害者及びひとり親等家庭医療費の助成対象者は、その助成額を控除した額。

所得制限 廃止。

自己負担額 0円。予防接種や、入院時の食事療養標準負担額や薬の容器代などの、保険医療適用外のもの是对象外。

町の助成額は6百86万8千円となり、現行よりも4百5万8千円の増額となる。

問 町外の病院で医療を受けた場合はどうなるのか。

答 領収書を持参して申請して頂き、償還払いの手続きを取らせていただく。

## 議会の動き

- 1月6日 ▶ 第18回議会報発行特別委員会
- 1月11日 ▶ 第19回議会報発行特別委員会
- 1月19日 ▶ 第20回議会報発行特別委員会
- 1月20日 ▶ 第1回議会運営委員会  
第1回総務文教常任委員会  
第1回産業厚生常任委員会  
第1回議員協議会
- 2月3日 ▶ 第21回議会報発行特別委員会
- 2月9日 ▶ 第22回議会報発行特別委員会
- 2月16日 ▶ 第23回議会報発行特別委員会
- 2月24日 ▶ 第2回議会運営委員会  
第2回総務文教常任委員会  
第2回産業厚生常任委員会  
第2回議員協議会
- 3月5日 ▶ 第3回議会運営委員会
- 3月8日~14日 ▶ 第1回定例会
- 3月14日 ▶ 第4回議会運営委員会
- 3月27日 ▶ 第5回議会運営委員会
- 3月31日 ▶ 武部代議士・吉田道議・三好道議を囲む新春の集い(稚内市)
- 4月2日 ▶ 第24回議会報発行特別委員会
- 4月9日 ▶ 第25回議会報発行特別委員会
- 4月10日 ▶ 第1回全員協議会
- 4月12日 ▶ 道北地域TPP問題を考える講演会(旭川市)
- 4月16日 ▶ 第26回議会報発行特別委員会
- 4月18日~19日 ▶ 宗谷町村議会議長会総会(稚内市)
- 4月20日 ▶ 第2回臨時会  
第3回総務文教常任委員会  
第3回産業厚生常任委員会



### 編集にあたって

今年は残雪が多く、遅い春となりました。待った分、山菜がよりおいしくなっていればと願ったりしています。

が上昇している現状では、それもなかなか難しいでしょう。町内に名林公園やふるさとの森がありますし、夜には満天の星空が広がります。徒歩で楽しむという手もあります。

さて、3月の定例会も終わり、新年度が始まりました。幌延町で新しいスタートを迎えられる方に「ようこそ幌延町へ」色々とこころに出掛けて、楽しい思い出をたくさん作ってください。

ただ、ガソリン等の物価

編集委員長 西澤 裕之  
副編集委員長 佐々木 忠光  
編集委員 植村 隆  
無量谷 敦